博物館の学校向け貸出資料研究会

資料を貸出する博物館と、利用する学校は、どんなことを思い、考えているのでしょうか。

博物館からは貸出資料開発・提供の工夫や改善方法など、教員からは自然史系・人文系の博物館資料を利用した学校での授業実践など、それぞれの立場からお話します。

博物館の学校向け貸出資料を通して、博物館と学校の関係を一緒に考えてみませんか？

日　時　平成30年 1.6（土）　午後1時30分～午後5時（受付は午後1時～）

会　場　大阪市立自然史博物館

参加対象　博物館関係者・教員・大学生　40名

参加申込　メールまたはＦＡＸで、下記を書いて、お申込みください。（1．4（木）締切）

①ご所属（博物館名・学校名など）
②お名前（ふりがな）
③返信先：メールまたはＦＡＸ
④貸出資料について、ほかの参加者に聞いてみたいことがあれば、書いてください。

申込先：学校と博物館連携担当　tm@mus-nh.city.osaka.jp Fax 06-6697-6225

内　容

● 13：30～15：30 ● 事例紹介

・「貸出資料って？～大阪市立自然史博物館の場合」大阪市立自然史博物館　釋　知恵子
・「博物館と連携することの意義～ボーリングコアを活用した授業実践例をもとに～」大阪教育大学附属天王寺小学校　工藤健司
・「ミュージアムと出会う－行ってみたり、やって来たり－」東京都立浅草高等学校　海上尚美
・「学習用貸出標本を通じた博学連携の促進」国立科学博物館　学習課　副課長　岩崎誠司

● 15：30～16：00 ● 講演についての質問・休憩・テーマ展示の見学など

※大阪市立自然史博物館の貸出資料のほか、他の博物館・美術館から貸出していただいた資料を会場に用意します。

● 16：00～17：00 ● 意見交換「貸出資料を通して、博物館と学校の関係を考える」

参加者のみなさんからの質問にも答えながら、意見交換をします。

主催：大阪市立自然史博物館、西日本自然史系博物館ネットワーク